1にち5ふん いちごドリル

慣用句の基本をマスター！ ～読み・書き・意味～ ③

名前

26問

問題 一

（一）次の慣用句の――部分の読みがなを（　）にひらがなで書きましょう。

① 腑に落ちない（　　）
② 襟を正す（　　）
③ 奥歯に物が挟まる（　　）
④ 固唾をのむ（　　）
⑤ 尻馬に乗る（　　）
⑥ 反故にする（　　）
⑦ 血眼になる（　　）
⑧ 太鼓判を押す（　　）
⑨ 呆気に取られる（　　）
⑩ 脛をかじる（親などに養ってもらうこと）（　　）

（二）次の慣用句のカタカナ部分を（　）に漢字で書きましょう。

① ウデが鳴る　答え（　　）
自分の能力や技術を発揮したくて、うずうずすること。

② カオから火が出る　答え（　　）
非常に恥ずかしい思いをすること。

③ キモが据わる　答え（　　）
どんなことにも動じない、度胸があること。

④ クギを刺す　答え（　　）
「あとで問題が起きないように念を押すこと。約束事などをはっきり確認しておくこと。

⑤ ケムに巻く　答え（　　）
相手をだましたり、ごまかしたりして、わけがわからなくさせること。

問題 二

いくつわかるかな？

（一）次の慣用句の意味として正しいものを、ア～ウから選び、○をつけましょう。

① 板につく
ア 木の板が古くなること。
イ 仕事や服装などが、その人にしっくり合っていること。
ウ 舞台の板の上で緊張すること。

② 裏をかく
ア 答案用紙の裏に名前を書くこと。
イ 相手の予想の逆をついて出し抜くこと。
ウ 隠れていたものを見つけ出すこと。

③ 折り紙をつける
ア 折り紙で何かを作ること。
イ 手紙を丁寧に折ること。
ウ 価値や能力が確かであると保証すること。

④ 角が立つ
ア 言動がもとで人間関係が円満でなくなること。
イ 部屋の角にほこりがたまること。
ウ 四角いものが丸くなること。

⑤ 鯖を読む
ア 魚の数を数えること。
イ 本の内容を大声で読むこと。
ウ 自分の年齢などを実際と違うように言うこと。

（二）次の意味に合う慣用句を、ア～ウから選び、○をつけましょう。

① どうしてよいかわからず、困り果てること。
ア 途方に暮れる　イ 高嶺の花　ウ 流れに身を任せる

② 余計なことをして、かえって災いを招いてしまうことのたとえ。
ア 藪をつついて蛇を出す　イ 棚からぼた餅　ウ 触らぬ神に祟りなし

③ 相手を自分の思い通りに、巧みに操ること。
ア 手を握る　イ 手玉に取る　ウ 手を焼く

④ 勢いを増しているものに、さらに勢いをつけるようなことをすること。
ア 水に流す　イ 火に油を注ぐ　ウ 焼け石に水

⑤ 一度切れた関係が、再びもとの状態に戻ること。
ア 焼け木杭に火がつく　イ 袂を分かつ　ウ 水と油

問題 三

次【　】の慣用句を使って、短い文を作りましょう。【　奥の手　】いざという時のために取っておく、とっておきの手段や秘策。